

第20回

全日本自動車整備 技能競技大会を開催

福岡県チームが優勝

一般社団法人日本自動車整備振興会連合会（橋本一豊会長）は十月十日、東京都江東区有明の東京ビッグサイトにおいて、第二十回全日本自動車整備技能競技大会を開催した。

この大会は、整備業界の整備技術向上と業界に対する正しい理解と認識を高め、健全な発展と

自動車の安全確保及び環境保全に寄与する目的で、二年に一度開催される整備業界最大のイベントで、本年は「優れた技術に思いをのせて！」をスローガンとして、全国の整備振興会から五十三チーム、一〇六名の選手が参加した。

競技は、競技時間九〇分、実車競技七〇〇点、基礎競技一〇〇点、アドバイザー競技二〇〇点の合計得点で競われる。実車競技は、一年定期点検整備と故障箇所を設定した点検整備で、故障設定はエンジン関係で四間、シャシ関係で四間の計八間。制限時間内に全てをクリアしなければならぬため、故障箇所を特定するの確な精度と機敏な動作が求められた。基礎競技では、単体部品の測定技術や測定結果に基づく診断をいかに正確に行われるかを競い、

アドバイザー競技では、仮想ユーザーを相手に問診、対応、結果説明を行い、的確な対応ができるかをロールプレイング形式で審査。全ての競技終了後、成績が発表され、入賞者へ

の表彰式が行われた。優勝は、福岡県自動車整備振興会チーム（谷口修平選手・常岡兼次選手）で第七回大会、第一回大会に続き、三回目の優勝となった。



技能競技大会出場選手たち